



つばさ

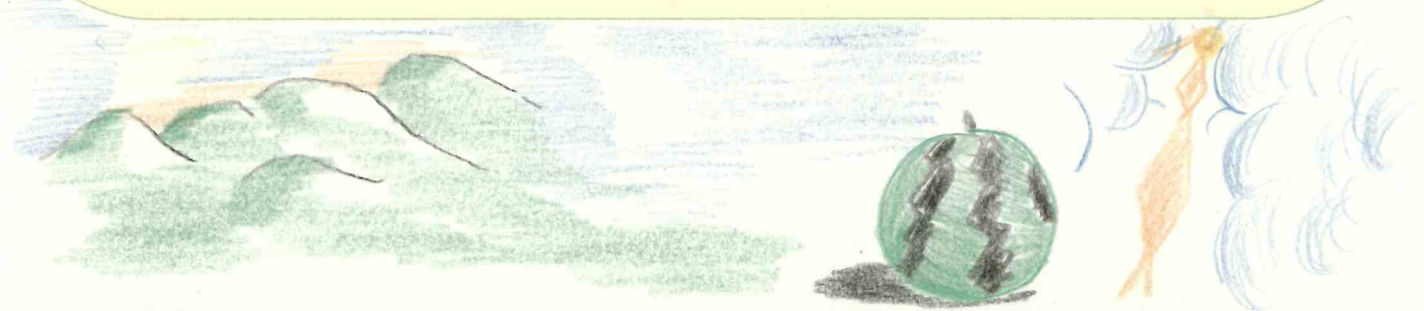
多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 7月 8日
つばさだより 第4号

「ハケ岳・移動教室」子供達がそれぞれに考える事

6月11日(水)より6年生のハケ岳移動教室が行われました。つばさでの事前学習では2泊3日の集団生活学習に向け、高学年を中心に集団生活で想定される個々の「気持ち」についてグループや個別指導で共有しました。グループでは参加に向けたモチベーション。今気になっていることについて意見を募り出しあいました。以下、共有した意見を簡単にまとめます。

・行きのバスに酔うのが心配 ・夜、眠ることができるか不安 ・お風呂上がりのジュースがとても楽しみ ・ソフトクリームが楽しみ ・とにかくみんなで行くのが楽しみ ・登山、できるかなあ
・森林体験は楽しみ ・個人的にトイレが近いからちょっと心配、でもどうにかなるか ・雨でもプラネタリウムがあるから天気は気にしてない 等々。

大なり小なり移動教室を前に気になることについてみんなで共有しました。その中で、5年生に対しては、6年生が自分の経験から「こんな感じだよ」と教えてくれる場面があったり、「先生に相談すれば大丈夫だよ」「何とかなるんじゃない」と前向きな意見を出してくれたりすることもありました。(個別指導の中でも入浴や食事内容などの相談があり、状況によっては時間の変更や個別対応できることも伝えました。) 集団生活は個々の「感覚」を周囲の状況に合わせていくことが求められますが、人によって生活の中で気になる視点が異なること。また、集団に合わせるための方法は「相談」によって生まれることをみんなで共有した移動教室前のグループでした。7月10日～11日には5年生の移動教室が始まります。グループでの学習を生かしつつ楽しく、安全に行ってきて欲しいと思います。



保護者面談・情報共有から始まる、深まる子供達への理解

先週つばさ教室での保護者面談が行われました。ご多用の中、貴重な情報を共有することができました。ありがとうございました。日頃よりつばさ連絡ファイル等で生活や学習の様子についてお知らせしていますが、やはりご家庭からの情報をリアルタイムに共有できることで、より一人一人の子に対しての理解、また保護者の方の考えや思いへの理解が深まると実感します。(もちろん、もしかするとまだまだその理解は断片的なものでもあることは多々あると思います。) 日々指導し学んでいく目の前の子をどう理解していくか。これは学校生活においてとても重要なテーマです。「どうしてできないの?」ではなく「どうやったら(どんな方法・支援があれば)できそうかな」この視点をご家庭とも共有しながら今後も進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。